目次

[初期設定 2](#_Toc477452158)

[【1】 クラウドサーバのセットアップ/使用 2](#_Toc477452159)

[1. サーバー作成 2](#_Toc477452160)

[2. サーバーへのログイン 2](#_Toc477452161)

[【2】 Cachéのインストールと設定 3](#_Toc477452162)

[1. Cachéのインストール 3](#_Toc477452163)

[2. 設定 3](#_Toc477452164)

[3. ユーザーの作成と設定 4](#_Toc477452165)

[4. Web関連の設定 5](#_Toc477452166)

[メンテナンス 6](#_Toc477452167)

[【1】 環境について 6](#_Toc477452168)

[1. Cloudサーバ上 6](#_Toc477452169)

[2. Jpnfilesrv上 6](#_Toc477452170)

[【2】 初期設定後の環境作成、メンテナンス 6](#_Toc477452171)

[1. 手順 6](#_Toc477452172)

[【3】 FAQアプリケーションのメンテナンス 7](#_Toc477452173)

[1. ソースコードの修正 7](#_Toc477452174)

[【4】 システム管理関連 8](#_Toc477452175)

[1. ユーザーとロール 8](#_Toc477452176)

[2. ライセンスキーの更新 8](#_Toc477452177)

[【5】 よく起こるトラブル 8](#_Toc477452178)

[1. 作成したのに見えない 8](#_Toc477452179)

[2. 添付ファイルが更新されていない 8](#_Toc477452180)

[その他 9](#_Toc477452181)

[1. Niftyからの障害・お知らせ通知メールを受け取る設定 9](#_Toc477452182)

# 初期設定

## クラウドサーバのセットアップ/使用

### サーバー作成

Nifty Cloud(http://cloud.nifty.com)からログインして、サーバーを作成。  
**nifty id： \*\*\*\*\*\*\*\* / password : \*\*\*\*\*\*\*\***ログインしたら、左側の一覧の、基本>サーバーのリンクで進んで、上部の＋サーバー作成ボタンで、サーバー作成を開始。後は、ウィザードどおり、希望するオプションを入れていって、完了。  
  
<参考>　2013.4.3現在のサーバーの設定内容  
サーバー名：\*\*\*\*\*\*\*\*  
IPアドレス(固定)：\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*  
タイプ：small  
イメージ：Red Hat Enterprise Linux 6.3 64bit　(サブスクリプション付)  
ゾーン：east-11  
料金：月額　※1  
  
※1．料金について  
料金は、月額課金と従量課金があり、タイプの変更は、変更した翌月から有効になる。  
月途中から移行作業を実施し、翌月頭から新サーバーに移行するのであれば、  
新サーバー作成時には従量課金にして作成し、翌月からは、  
 ・新サーバー：月額  
 ・旧サーバー：従量課金  
となるように、移行作業月中に変更しておくと良い。  
従量課金の場合は、サーバー停止時には時間当たりの課金額が安くなるので、  
必要の無い時間帯は、停止しておくとBetter。  
ちなみに、2013.4現在の価格体系では、従量＊24h＊25日稼動＝月額くらいなので、  
従量課金のまま1カ月稼動させたとしても、さほど差は無い。

### サーバーへのログイン

サーバーへのログインには、ユーザ・パスの他に、秘密鍵が必要。(TCPポート:22、SSH2)  
**ユーザ名：\*\*\*\*\*\*\*\* / パスフレーズ：\*\*\*\*\*\*\*\***  
RSA/DSA鍵を使う：チェック　→ ISCCLOUD\_private.pem を選択   
OK押下でログインできます。

※1．秘密鍵の格納場所：\\jpnfilesrv\public\Tech\FAQ\NewKB\Cloud  
※2. 選択時に、ディレクトリを参照する際、ファイルの種類が「秘密鍵ファイル」に  
 なっていますが、これだと、.pemファイルは見えませんので、「すべてのファイル」に  
 変更してください。

*※ユーザ名/パスワード等については、管理者（佐藤・古薗）に確認。*

## Cachéのインストールと設定

### Cachéのインストール

1-1．Kitの入手

Kitを一旦ftp.itersystems.comのhomeディレクトリに置き、それをwgetで取得する。

　(ftpでももちろんいいが、設定の必要が無いので、wget。)  
---------------------------------------------------------------------------------------  
wget --user=ftpadmin --password=<pass> ftp://ftp.intersystems.com/cache-2012.2.2.801-lnxrhx64.tar.gz  
---------------------------------------------------------------------------------------  
※1. ftp.intersystems.comのホームにキットが既に置いてある場合も多いので、  
　　それを利用してもOK。

※2. KitServer→ftp.intersystems.comの転送は、掛地さんご担当。

※3. ftp.intersystems.com下に置いたファイルは削除すること。(自動的には削除されない)

（逆に、間違って他のファイルを消さないように要注意！）

※4. キーも同様の方法で転送する必要があるが、ftp.intersystems.com下に置くのは、  
 削除し忘れると良くないので、管理ポータルから直接入力したほうが良いかも。

<参考> wgetについて  
<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20060228/230995/>

1-2. Cachéインストール

以下を展開ディレクトリ下で実行  
・解凍（展開）：  
　----------------------------------------  
　tar xvzf Cache～～～～～～～.targz  
　----------------------------------------  
・インストール：  
　----------  
　./cinstall  
　----------

### 設定

2-1. ポートオープン

ポート80と、57772をオープンする。  
Chain RH-Firewall-1-INPUTにルールを追加。(Chain INPUTだとダメだった。)

方法1：/etc/sysconfig/iptablesを直接編集  
 /etc/sysconfig/iptablesに以下2行を追加。  
--------------------------------------------------------------  
-A RH-Firewall-1-INPUT -p tcp -m tcp --dport 80 -j ACCEPT  
-A RH-Firewall-1-INPUT -p tcp -m tcp --dport 57772 -j ACCEPT  
--------------------------------------------------------------  
※上から順番に効くので、REJECTの行よりも必ず上に書く。

方法2：コマンドで追加。  
-----------------------------------------------------------------  
iptables -I RH-Firewall-1-INPUT 8 -p tcp --dport 57772 -j ACCEPT  
-----------------------------------------------------------------

※「8」はChain内の行番号。REJECTより上になるように指定。

追加後のiptables -Lの結果

--------------------------------------------------------------------

[root@localhost Cache20122]# iptables -L

Chain INPUT (policy DROP)

target prot opt source destination

RH-Firewall-1-INPUT all -- anywhere anywhere

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp dpt:ftp

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp dpt:ftp

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp dpt:ssh

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp dpt:http

Chain FORWARD (policy DROP)

target prot opt source destination

DROP all -- anywhere anywhere

Chain OUTPUT (policy ACCEPT)

target prot opt source destination

Chain RH-Firewall-1-INPUT (1 references)

target prot opt source destination

ACCEPT all -- anywhere anywhere

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp spts:bootps:bootpc

ACCEPT udp -- anywhere anywhere udp spts:bootps:bootpc

ACCEPT all -- anywhere anywhere state RELATED,ESTABLISHED

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp dpt:ssh

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp dpt:http

ACCEPT tcp -- anywhere anywhere tcp dpt:57772

REJECT all -- anywhere anywhere reject-with icmp-host-prohibited

-------------------------------------------------------------------

[参考]

<http://d.hatena.ne.jp/tomodrop/20091013/1255416107>

<http://linuxest.jugem.jp/?cid=19>

<http://www.geocities.co.jp/SiliconValley-Cupertino/9120/iptables.html>

[Check!] 管理ポータルが開けるかCheck!

### ユーザーの作成と設定

システムユーザーのパスワードの設定、および、FAQ管理者用のユーザーを設定。

FAQ管理者用ユーザー：FAQAdmin（ロール：%All）

※現在のシステムユーザーのパスワードは下記ファイルを参照。

[\\jpnfilesrv\public\Tech\FAQ\NewKB\Cloud](file:///\\jpnfilesrv\public\Tech\FAQ\NewKB\Cloud)

### Web関連の設定

3-1．apacheインストール

-------------------

yum install httpd

-------------------

※Apache.orgから新しいファイルをダウンロードするなら、wgetでミラーサーバ指定して取得。

3-2．CSPgateway設定

------------------------------------------

<Kit展開ディレクトリ>/dist/csp/CSPinstall

-------------------------------------------

or

http://docs.intersystems.com/cache20121j/csp/docbook/DocBook.UI.Page.cls?KEY=GCGI\_ux#GCGI\_ux\_apache

の

UNIX で稼動する Apache サーバでのインストール (すべての接続オプション)

　↓

オプション 1 ： (推奨) NSD を使用しない Apache API モジュール (CSPa.so)を実行

[Check!] ポート指定なしで管理ポータルが開けるかCheck!

3-3．公開のための設定・準備

faq.intersystems.co.jpで接続できるようにリダイレクト設定する。

http.confにDocrootに指定されているディレクトリ（デフォルトは/var/www/html）に、  
FAQトップページ(/csp/faq/FAQ.FAQApp.cls)へのリダイレクト文を記述した、index.htmlを配置する。　(index.htmlは、別テキスト参照。)

***ここまでで初期設定は終了です！***

# メンテナンス

## 環境について

### Cloudサーバ上

インストールディレクトリ：/intersystems/cache/  
インスタンス名：CACHE

ネームスペース：FAQ

添付ファイル格納ディレクトリ：/intersystems/cache/csp/faq/downloads

### Jpnfilesrv上

インストールディレクトリ：D:\InterSystems\Ensemble\  
インスタンス名：ENSEMBLE

ネームスペース：Knowledge（以前のまま変えてない）

添付ファイル格納フォルダ：\JPNFILESRV\FAQdownloads

(D:\InterSystems\Ensemble\CSP\knowledge\downloads)

## 初期設定後の環境作成、メンテナンス

初期設定後の環境作成・メンテナンスは、基本的に、Installerを使用して行う。

### 手順

* 1. 事前作業

Installer実行前に、下記を実施。

・FAQ/Installer.clsのインポート　※初期セットアップ、及び、Installer.clsを更新した際のみ

・KB/Setup.cls,KB/Config.clsのインポート　※初期セットアップ時のみ

・環境パラメータでその他を選ぶ場合（EnvID=4, setuptype=1）には、KB/Setup.clsを環境に合わせて編集する

・セットアップ用ファイル(FAQ/\*.cls FAQ/\*.csp、TopicD.xmlなど)、添付ファイルの配置

・clsファイルは差分またはフルでGitHubからダウンロード

<https://github.com/wolfman0719/isjfaq>

・イメージファイル、スタイルシート用ファイルfaqimages.xmlの配置　※初期セットアップ時のみ

・ダウンロード用ファイルの準備　セットアップディレクトリの下のdownloadsというディレクトリを準備してそこにダウンロードファイルを置く

・KB/Setup.clsの設定内容と、上記ファイルの配置場所が合っているか確認

・Windowsの場合にはロケールをUNIX用に変更、CSPファイルをUTF8で読むための措置

（インストーラにこの処理も組み込まれているため実際は処理する必要なし）

1. Installerの実行

----------------------------------------------

do ##class(FAQ.Installer).runInstaller(YYYYMMDD)

----------------------------------------------

※YYYYMMDDは、セットアップ用ファイルの置き場所のディレクトリ名。

　 当日の日付で問題ない場合は、引数ナシでOK。

1. Installerの仕様

Installerを実行する環境と、実行するセットアップタイプにより、実行する処理を分岐している。

runInstaller()を実行すると、それぞれを対話形式で答えて、処理実行。

（実行環境による違いはKB.Setup.setConfigParams、セットアップタイプによる違いは  
 FAQ.Installer.runInstaller()の中でそれぞれ分岐処理。）

* 1. 実行する環境の選択

実行する環境(envID)を選択する。選択肢は以下の通り。

クラウド(本番)環境＝1、jpnfilesrv＝2、クラウド(テスト)環境＝3、その他＝4

　※上記3つはなるべくソースを変更しなくていいように、ローカルのテスト等では4を使用

* 1. セットアップタイプを選択

実行するセットアップのタイプ(setuptype)を選択する。選択肢は以下の通り。

・初期セットアップ＝1、データとソースの更新＝2、データのみ更新＝3、

アプリケーションソースのみ更新＝4

3．環境変数の設定内容

　　KB.Setup.setConfigParamsで設定している環境ごとの環境変数の設定内容は別ファイル参照。

(環境変数設定内容.xlsx)

## FAQアプリケーションのメンテナンス

### ソースコードの修正

1-1．ソースの概要

検索画面：タブベースのZEN画面。それぞれのZENページにはテンプレート使用。

詳細画面：トピック詳細・新規作成・編集画面は、CSP。

※コード仕様は、別資料を参照。

1-2．ソースの管理

ソースコード.clsは、GitHubにて管理。  
（下記フォルダにもバックアップとして置いておく。

[\\jpnfilesrv\public\Tech\FAQ\NewKB\Applicationソースコード](file:///\\jpnfilesrv\public\Tech\FAQ\NewKB\Applicationソースコード)）

・FAQ/Installer.cls：インストーラー用プログラムだけを含んだcls。

1-3．データの管理

データ.xmlは、下記フォルダにて管理

[\\jpnfilesrv\public\Tech\FAQ\NewKB\Export Globals](file:///\\jpnfilesrv\public\Tech\FAQ\NewKB\Export%20Globals)

・TopicD.xml：KB.Topicグローバルxml。

1-4. UnitTestの実行（開発環境のみ）

・1-2のソースコードの場所にFAQ/UnitTest.clsというファイルがあるので、テスト環境でそれを適当なディレクトリに置く（例：D:\UnitTests\FAQ）

・%SYSネームスペース上で下記実行（ネームスペースがfaqの場合）

　%SYS>Set ^SYS("Security","CSP","AllowPrefix","/csp/faq/","%UnitTest.")=1

・テスト環境の該当ネームスペースにログイン後、以下を実行

>Set ^UnitTestRoot = “D:\UnitTests”

>Do ##class(%UnitTest.Manager).RunTest(“FAQ”)

端末上に以下の様なurlが表示されるのでそれをブラウザで確認

http:// ip address :57772/csp/user/%25UnitTest.Portal.Indices.cls?Index=4

テストの失敗がないことを確認

## システム管理関連

### ユーザーとロール

Jpnfilesrv上のアプリには、FAQ用のロールとして、以下を用意している。

・FAQAdministrator：FAQ管理者用ロール（FAQコミッティーメンバーに付与）

・FAQEditor：FAQ作成・編集者用ロール（技術者全員に付与）

新しくどちらかにあてはまるメンバーが追加されたら、ユーザーを追加し、該当ロールを付与する。

※ロールの詳細については、アプリケーション仕様を参照。

### ライセンスキーの更新

クラウドサーバのライセンスは、1年期限のSE用のキーを使用中。

更新を忘れずに行う。（例年、11月末）

キーファイルによる更新の場合は、ftp.intersystems.comに経由で反映する。

※キーファイルなので、転送後の削除を忘れないこと。

システム管理ポータルから直接入力でもOK。

## よく起こるトラブル

### 作成したのに見えない

原因1：公開フラグにチェックがないor削除フラグが立っている  
 (Cloud上では、未公開Topic、削除フラグのあるものは見えない。）  
 →適切なフラグ状態に修正

原因2：ユーザーログインしていない（jpnfilesrvの場合）

ユーザーログインしていないと、未公開Topic、削除フラグのあるものは見えない。

→ユーザーログインする

原因3：アンケート用オブジェクト(UsersVoice)との兼ね合い  
Topicクラスでオブジェクト参照されているUsersVoiceが無いと、  
エラーでTopicが表示されない。  
→Topicが指しているUsersVoiceに対応するオブジェクトがあるか確認し、無ければ、  
 CreateUsersVoiceメソッドで作成。（現バージョンではこの問題は解消しているはず）

### 添付ファイルが更新されていない

原因1：添付ファイルをCloudサーバーに反映していない  
→Cloudサーバー上の添付ファイルを確認。

# その他

### Niftyからの障害・お知らせ通知メールを受け取る設定

Nifty CloudのHPから、法人IDでログインすると表示されるダッシュボードの左下の、  
「アカウント管理」>「障害・お知らせ通知」で、メールアドレスを登録すると、  
障害や、メンテナンス実施の情報が受け取れる。

※既に、コミッティーメンバーは全て登録済。  
今後、追加・削除・変更がある場合は、上記から作業する。